

# ～ 西尾東高校 4 1 回生受験体験記 ～

「**受験体験記**」とは東高卒業生が1年間の受験生活を終えて感じたこと、後輩へ伝えたいことをまとめたものです。メッセージの中にある「**成功へのキーワード**」を見つけ出し、志望校の合格へつなげてくれることを期待しています。

## 1 3年間（または1年間）努力したこと・気をつけたこと（学習・生活など）

- ・生活習慣を固定した。とくに、寝る時間と起きる時間を固定した。
- ・休みの日も睡眠時間を増やさず、平日と同じ生活を心がけた。
- ・常に周りに勉強している人がいることを考えて行動すべき。椅子をひく音とか、ドアを閉める音、足音、大きな笑い声はとくに気になりました。
- ・電車での通学中や放課などの隙間でも勉強するようにした。
- ・土学や補習（朝・業後）はできるだけ全部に参加するようにした。そしたら、学校がない日でも自然に目が覚めるようになった。
- ・分からないことはすぐに聞くようにした。
- ・STテストは満点を目指す。
- ・英単語・古単語は早めに真剣に取り組み、忘れないように短いスパンで繰り返す。
- ・スマホは電源を切って遠い所へ置く。ゲームアプリは4月から一度も開かなかった。
- ・わからなかったことをノートにまとめて、毎日朝と寝る前に読むとめっちゃ点数が上がる。ノートはきれいにまとめればいいというものではなく、自分が見て理解できるかどうかが大事。
- ・入試で使わない教科がある場合でも、授業はしっかり聞いた方が絶対にいい。
- ・起床時間・就寝時間は1年間ほぼ崩さなかった。（多数）
- ・毎日早く起きたおかげで入試の日に朝早くても心配なかったし苦にならなかった。
- ・スマホを家で使う場所を、親がいつも居るところだけにしてそこ以外では使わなかった。自分の部屋に持ち込むと自分に負ける。
- ・3年では毎月模試がある。1か月ガチでやれば100点くらいすぐ伸びると思っていたが、難度が上がる、内容が増える。そんな甘い考えでは乗り越えられなかった
- ・とにかく勉強しない日を作らないこと。正月もクリスマスも。自分がやらない時間ライバルは勉強している。
- ・膨大な学習時間が稼げる夏休みの過ごし方で差がつく。学校の補習を中心に、基礎を固める学習をする。自分が何が分かっているかを把握する。英単語や英作文は先生が用意してくれたプリントをやった。夏休みに上手に学習計画が立てられるように、1学期は試行錯誤を繰り返しながら自分なりの学習スタイルを模索した。
- ・風邪をひかない。体調を崩すと授業を休むことになり、遅れが出る。

## 2 学習方法について（授業や補習の活用、苦手科目の克服方法など）

- ・自分が苦手だなと思う問題は、コピーして何回も解くようにした。
- ・英語はコツコツ単語をやるのが、一番いい勉強方法だと思った。また、音読をしっかりと、英語の長文に慣れるといいと思った。
- ・英単語と古単語は、普段からやっている人とやってない人では大きな差がある。この差は、焦ってもなかなか埋めることはできない。
- ・英語はとにかく音読。そして勉強しないといつまで経っても伸びない。
- ・行き帰りは英語か日本史か古単語を聞いていました。
- ・予習こそ完璧にすることを心がけた。授業でつまづくこともないし、完成度の高い勉強・学習ができる。
- ・学校で配られた参考書や問題集が3周や5周できていない内は、正直新しい参考書や問題集を買う必要はないし、買ってもしやらないと思う。
- ・苦手教科はとにかく言いながら書く。
- ・先生が用意してくれた補習や学習会には絶対出席した方が良くと思う。制服を着て、学校へ行った方が絶対に集中できる。とにかく分からないことは先生に質問に行く。そして、自分なりにノートにまとめるとより理解が深まると思う。
- ・「夏休み前にネクステ2周しなさい」と言われたので、毎日少しずつやったら驚くくらい文法問題ができるようになった。その問題がどの文法について聞いていて、何と間違えさせたいのかわかるようになる。

- ・英単語はその日の長文問題でわからなかったものを自分用のミステイクノートにまとめ、昼に弁当を食べながら見直した。
- ・英語は得意でも苦手でも絶対捨てずに、一番早くから取り組む。
- ・英語が苦手だったので、教科担当の先生に長文や文法のプリントをもらって勉強した。
- ・理数科目はとにかくたくさん解く。触れたことのない問題が入試で出ると本当に焦る。
- ・3年生で追い込まれている時期、焦って夜遅くまで勉強する人がいるが、やめた方がいい。翌日授業が眠くて集中できない。あってはいけない。
- ・苦手な科目をほかの科目で挽回しようとせず、克服の努力をすべき。

## 3 模試について（受験前の工夫や、受験後の問題のやり直し・成績個票の活用など）

- ・受験前は暗記事項をもう一度詰め込み、受験後はできなかった部分をもう一度見直す。
- ・1回1回を本番と思って本気で解く。時間配分を色々試してその配分が自分に合っているかを見つける。
- ・志望校を受けるのに自分の点数が何点足りないのか、どの教科をどれだけ伸ばせるかを考えて「何月の模試までに何点上げる」という計画を立てる。
- ・私は模試の復習が下手で、最初はこれで力になっているのかと不安だったけれど、特に力を入れて復習していた英語は最後には本当にできるようになっていた。
- ・やり直しは必ず行うべき。終わったその日にしろ。
- ・同じ問題が次に出たら絶対に間違えないと確信できるまで復習する。
- ・模試の問題は良問しかないのになぜ復習しない？
- ・答を見て理解したら、1週間後くらいにもう一度同じ問題を解いてみる。
- ・同じ問題は出ないが、同じような問題は入試でも結構出るので復習は必須。
- ・模試は割としっかりした解説が載っているので、間違えた問題の解説は理解するまで見ることを心がけた。
- ・模試は結果だけに一喜一憂するのではなく、どういう問題ができなかったのか、どの分野が弱いのかなどを知る最良の材料であると思った。
- ・模試はやり直し、解き直しをした上で保存しておくとい。特に3年の時のもの。時間をおいて再度やってみると、自分の弱点がよく分かる。
- ・模試で間違えた所をまとめたノートを作るのがオススメ。実際私もノートを作っていて、センター試験の直前に見直していた所が出ました。

## 4 担任との面談・受験校の決定について

- ・条件があっても探してくれるので、早めに相談すべき。
- ・第1希望の学校と学部しか決まっていなかったけど、相談したら必ず答えてくれる。相談していなかったら、併願校とか全く分からなかったと思う。
- ・面談する前に自分である程度調べておくと良い。（受験制度など）
- ・自分の意見ばかり貫かない。先生の方がよっぽど受験に詳しい。
- ・担任の先生との面談は3年生になってから格段に増えた。
- ・担任の先生だけでなく、進路室の先生やお世話になった先生など色々な先生に受験校や勉強の仕方を教えていただいた。もやもやしたらすぐに先生のところへ行く！
- ・最良の結果と最悪の結果と両方考えて決めた。プライドは捨てた方が良い。
- ・先生には正直な思いをぶつけた方が絶対に良い。自分は途中で志望学部を変えた時、先生が色々調べてくれたので、言ってよかったと思った。
- ・面談はたくさんやってもらった方が絶対いい。勉強にやる気が出なくなったら、面談をしてもらって気合いを入れ直してもらおう。
- ・第一志望以外にもレベル別に色々な大学を調べておく。センターに失敗して自分が出願するつもりだった大学に出願できず、レベルを下げて出願することになっても、その大学が元々知っている所のほうがいいと思う。
- ・親には「センターの結果が悪かったから、ここしか受けられる大学がない」より、「この大学はこのような良い所があるから、ぜひ行きたい」と言うべき。親には心配かけるけど、自分の受験は悔いなく終わりたいと思ったから。
- ・自分の希望と違う大学を提案される場合もあるけど、先生たちも一生懸命考えてくださっているからこそ新

- ・ しい可能性が出てきたのだととらえ、柔軟に考える。
- ・ 現実をスパスパ言ってくださったので、浮わつくことなく勉強できた。
- ・ 志やこだわりを持つことは大切だが、あまりに分不相応の大学を目標にするのではなく、戦略をもって自分の実力に見合ったところを選ぶべきだと知った。

#### 5 受験会場で感じたこと

- ・ 放課の時間が長いので、自分専用のノートを作って見るといいかも。
- ・ 大学の偏差値が下がれば下がるほど受験会場で勉強している人が少なくなる。
- ・ 自分の思うような結果ではなくしばらく何も考えられなかった。自分もかなり努力した気だったが、他の人はもっと努力していたと強く感じた。
- ・ 特に周りに圧倒されることはなかった。自分がそれだけやってきたという自負や自信があったから。勉強量で本番の気持ちは大きく変わると思います。
- ・ 受験校のレベルが上がれば上がるほど静かになっていった。
- ・ センター試験はいろいろな人がいる。休憩時間にスマホでゲームしている人もいて驚いた。そういう人たちは無視して勉強した者の勝ちだと思う。
- ・ これで人生決まるのか と思うと震えた
- ・ 周り全員、ボロボロの参考書を持っていて圧倒された。
- ・ 1教科目の回収の時チラッと見える前の席の人の答案がびっしり書かれていたのでとても焦ってしまい、次の教科が手に付かず集中できなかった。
- ・ 本当に緊張した。自分は緊張しないと思ってたのにご飯がのどを通らなかった

#### 6 受験の結果を手にして感じたこと

- ・ 落ちた時の親への罪悪感がすごい。
- ・ 受かると思っていた大学に落ちてしまい、自分のレベルの低さを実感した。
- ・ 甘く見すぎていたと思った。
- ・ 不合格の文字を目にして、もちろん悔しい思いはあったけど、ほんの少し”こんなもんか” と思ってしまっで、自分は受験に本気で取り組んでなかったのかなと感じて、悲しくなった。
- ・ 「自分は元がバカだから頭が良くならない」という考え方は甘えだったこと。「自分の点数が上がらないのは元がだめなのではなくて、勉強が嫌いでやらなかっただけ」だったことが本当によく分かった。
- ・ 頑張ってきて良かった。応援してくれた全ての人に感謝の気持ちでいっぱい。
- ・ 自分なりに頑張ってきたから、第一志望に受かったときは言葉じゃ表すことができなくらい嬉しかった。
- ・ 試験が終わってけっこうできたと思ってもその大学に落ちたから、受験はそんなに甘くないなと思った。
- ・ 1点の差で合否が分かれる 　　・ 初めて嬉し涙を流しました。
- ・ 努力は必ず報われるわけじゃないけど、その努力は必ずどこかで役立つだろうと前向きになれた。
- ・ 最後まで勉強をやめないことが大切だと思った。
- ・ 今までの結果がそのまま出るなと感じた。やってない人は本当に落ちる。焦って勉強して合格するより、毎日頑張って合格した喜びは比べようがない差があると思う。
- ・ 国立前期の合格発表で、自分の番号を見つけた瞬間、目から涙がぶわっとあふれた。本当に嬉しかった。
- ・ 不合格を知った時、どうして？と思う反面、少しその原因に心当たりのある自分が許せなかった。
- ・ 私大が決まると気が抜けてしまうが、そこで気を抜かない人が国立に受かる。
- ・ 国立の合格は手が震えた。私大の時とはまったく違う。嬉しすぎてはじけた！

#### 7 3年生1学期頃の自分への助言

- ・ 早く勉強しろ。 　　・ 早く本気になれ。
- ・ 英語から逃げない。英語ができなければ大学合格はあり得ない。
- ・ 長い人生の中の一年ぐらい死ぬ気でやれよと言いたい。
- ・ 頼むから英語やれ。 　　・ 正直あの5倍は勉強できるよね？
- ・ 結局部活を引退してずるずるだらだらの生活をしているなら勉強を始めるべきだ。
- ・ 明日やろうは馬鹿やろう 　　・ 部活の引退後の切り替えが大切。

- ・ 部活終わってからじゃ遅い！机に向かえ！ 　　・ その勉強方法、甘くない？
- ・ 受験生としての自覚を持て！ 　　・ 長時間勉強できる習慣を付けて！
- ・ 単語を1個でも多く覚えたら入試の問題が解けたかもしれない
- ・ 今始めていれば、もっと上の大学へ行けた。
- ・ 先生の言うことをよく聞け。残り70年の人生のことを考えろ！
- ・ 受験に対する気持ちや意識をもっと高めて欲しい。
- ・ 英語を3月からやれ！ 長くやらないと上がっても一瞬ですぐ下がるぞ！

#### 8 高校受験と大学受験のちがいは

- ・ 高校入試の倍が大学入試ではない。乗である。何乗になるかは日々の行い次第。常に同じペースでできたならば、だんだん楽になる。
- ・ 最後の追い込みは高校受験に比べて効果がない。毎日コツコツやるのが本当に大切だと思った。
- ・ 意識も違うし、シンプルに勉強量が違いすぎる。
- ・ 大学受験は人生が変わる 　　・ 大学受験は本当に頑張らないと何とかならない
- ・ 覚える量が圧倒的に多い 　　・ 人生が変わる（本気で）。生半可な気持ちで臨むな！
- ・ 高校はどこかしら受かるけど、大学は一つも受からないことが普通にある。
- ・ 国立公立入試はセンターで同じような点数を取った人が集まるので、受かるかどうかは紙一重。
- ・ 落ちたとき地獄。それからどうするの？
- ・ 高校は通学距離だけで決めたが、大学は自分がやりたいことができるところを志望したのでレベルもギリギリで本番の緊張感も高校受験とは段違いだった。

#### 9 その他（後輩へのアドバイス・メッセージなど何でも）

- ・ 上の渡りの鉄扉、静かに閉めて欲しい。本当にうるさかった。
  - ・ 周りへの気遣いができる人であって欲しい。 　　・ 簡単に乗り越えられる目標じゃ意味がない。
  - ・ 自分もそうだったとは思いますが、1・2年生の大きな声が放課などに聞こえてきてうるさかったです。静かにするようにお願いできないのでしょうか。
  - ・ 早く来てしゃべっているのなら、遅く来て欲しい。
  - ・ これを読んでいる今から勉強するべき。 　　・ 学校に残れ、学校で寝るな、朝早く来い。
  - ・ 勉強すれば必ず受かるわけじゃないですが、勉強しなければ受かりません。
  - ・ クラスの雰囲気をよくするために、周りに気を遣うことが本当に大切です。
  - ・ 部活を理由に勉強しないのは本当にやめた方がいい。時間がないなら授業はしっかり聞く、課題は自力でしっかり解く。考査週間は部活がないから、休日は1日10時間以上勉強する。これをやっておけば、3年生になって10時間勉強するのにすぐ慣れる。
  - ・ 受験勉強の最初はとにかく質より量。量をこなしていけば自分に合う勉強法が見つかる。
  - ・ 自分は家で勉強できなく、学校での勉強時間を長くすることで浪人せずに済んだ。学校に居る時間をできるだけ長くした方がいい。
  - ・ 自分の中で あの人に負けないという相手を作り、負けたときは悔しい思いをする。
  - ・ 私は、家族と進路の話をするのがとても嫌でした。”ここの大学に行きたい”と伝えても、”受かるの？”とか”無理じゃない？”と、まだ受けていないのに決めつけられて、悔しかったです。でも、本命の大学受験前は優しく送り出してくれました。これから受験勉強が始まって、志望校が決まっても、親に反対されたりする人がいると思います。そんな時は、親に自分の頑張っている姿を見せつけましょう。その姿を見たら、いつか自分の意志を認めてくれます。受験期に、家族との関係はとても大切です。毎日、朝早く起きてお弁当を作ってくれるのは誰ですか？授業料を払ってくれているのは誰ですか？たまにでいいので、家族に感謝を伝えて下さい。そして、家族と友人と一緒に、辛い受験を乗り越えて下さい。
  - ・ ほとんどの人が人生でいちばん勉強をする。そして自分自身の努力や責任で進路が決まる。そんな素晴らしい機会を全力で走り抜いて下さい。そして、自分が納得するような受験にして下さい。
- 勉強を「めんどくさい」と話すやつがいるが、こいつが厄介でまわりに伝染する。もし、周りが「めんどくさい」とか「疲れた」とか言って、学校に残っていかなかったとしても、踏みとどまって我慢して残ったほうがよい。